

加西病院の市民サポート窓口設置について



井上智章 議員
(新政会)

問

ミニ説明会や病院フォーラム、病院だよりを通しての啓蒙等で、市民から加西病院を応援したいという声はたくさん耳にするが、現実的には病院は市民から敷居の高い存在に感じる。病院内に市民サポートの窓口を設置し、いつでもどこでもなことをしてほしいというボランティアの一覧の公表や、足りなくなっている備品リスト等を公開して、寄附を求めるといった方法もあるのではないかと。市民や団体が、加西病院の支援をしているという当事者意識を持っていただくことが、市民サポートの輪を広げていくきっかけになるのではないかと。

答

ボランティアについては、現在各種団体、個人からオシボリ巻き、総合案内補助、院外の清掃、院内コンサート等様々な活動をしていただいで

います。市民病院を維持、発展する上では、市民サポートが非常に重要で、市民の皆さんの支援は医師の確保、定着にも重要と考えます。現在、市民サポートの窓口は、地域医療室で行っていますが、地域連携、医療相談等の事務の増加により、手厚く呼びかけができていない現状ですので、窓口の検討を行うとともに、直接的なサポートから新しい医療の認識、医療のやり方等の啓蒙を行い、地域で医師を守る、医療を守るといった間接的なサポートへの発展ができればと考えています。

保育所の民営化について



高橋佐代子 議員
(21 政会)

問

公立保育園は民間保育所に比べ、同一の保育を行うに当たりコスト高になっている現状もあり、民間活力を導入し、保育所運営に係る経費を削減するとともに、新たな保育ニーズに^た応えた、高い保育水準の運営を目標とし、延長保育の充

実、休日保育、産休明け保育について、積極的な取り組みが求められている。そんな中、これをクリアする方法として、民営化、統合に取り組みされているが、どのように計画をされているのか。民営化に当たっては情報公開を行い、保護者や市民の意見、要望を聞きながら、信頼関係のもとに、慎重に進めていただきたい。

答

教育委員会としては、保育所のみならず幼稚園の民営化も同時並行で考えています。この状況で民営化以外に道はないという考え方に立ち、むしろ民間の活力を活用でき、特色ある教育、保育もできることで市民満足度も増し、財政的な効果もあり、乱立状態を解消する必要がありますということになっています。昨年度のタウンミーティング等で全体を一齐に民営化するという提起をしましたが、議会の意見や市民の議論等を受けて、できることから進め、必要最小限の市立は残すという答弁もしています。市民に対して十分広報しているとはいえない状況で、市の広報等を通じながら市民にもお知らせできます

改革マニフェストについて



土本昌幸 議員
(公明党)

問

平成18年から取り組んだ改革マニフェストの最終報告が、ホームページに掲載されているが、取り組み状況一覧表でわかりにくい部分があり、制度設計型の項目が全体の半分以上を占めていることから達成した実感がわかないと思うが、どう考えているか。また、今後の計画はどうされるのか。

答

改革マニフェストについては、かなりの労力を割いて取り組んできたもので、これを見れば市が何をしているかが一覽でわかる非常に有益なものだと思っています。ただ、初めての試みで、荒削りの部分があり、大きな点は数値目標が不十分な部分があるということ、大きい項目と小さな項目が混在しているということです。今後は、より市民に対して見やすい

ものをつくり、評価の公平性、客観性という意味で、外部委員も入れたいと思います。また、改革マニフェストを執行していけば、総合計画も実行されていくシステムにし、さらに改革マニフェストの内容を個々の管理職の目標管理に落とし込んでいく仕掛けにしたいと思っています。

個々の管理職が目標管理をきちりやっていると、必然的に総合計画まで実行されていくシステムティックな進め方を考えています。

三洋電機の加西進出について



桜井光男 議員
(21 政会)

問

三洋電機が鎮岩町の加西事業所敷地内にハイブリット自動車用リチウムイオン電池の新工場を建設されるが、社長から加西市へどんな点について要望があったのか。その要望に対応すべく、市内のインフラ整備はどうされるのか。

答

社長が言われたインフラ整備の必要性については、